

設置期限延長でどうなる!?

ホール活性化へ 機械投資は戦略的に

21世紀会決議が改定され、一部の旧規則機の設置期限が延長された。これによって入替スケジュールに余裕が出てくるなどメリットも大きい。一方で「いずれ入れ替えないなら機械を延命させることで停滞感が生まれる危険性も指摘されている」。



今回の措置によってホール側のメリットは、旧規則機が充実してきていたのに、この延長によって今後入替スケジュールに余裕が出てくること、特に「真花の慶次」や「真花の慶次2」など、現在も多くのホールでメイン機として稼働している機種が設置期限が延長されること、と大きく、いずれ入れ替えないなら機械を延命させることで停滞感が生まれる危険性も指摘されている。

都遊協 総会 講話で旧規則機撤去要請

東京都遊技協同組合は5月26日、都内の遊技会館で通常総会を開催した。阿部泰久理事長は冒頭の挨拶で「昨年は業界に対して、批判への対応に苦しむ。批判への対応に苦しむ。批判への対応に苦しむ。批判への対応に苦しむ。」と述べた。



遊技機リサイクル協会 新代表理事に趙頭洙氏

遊技機リサイクル協会は5月17日、都内のTK P市ヶ谷カンパニールを会場として、任期満了に伴う役員改選総会を開催した。

中国遊商 総会 新理事長に山本基庚氏

中国遊技機商業協同組合は5月13日、広州市内のANAWAホールで開催された。

特集 アイドル店員たちの活躍

店舗の「顔」として発信者に 動画やツイッターなどでホルの「店員」が主役となり、様々な情報を発信している。中でも、注目されているのが「アイドル店員」だ。彼女たちは、どのような役割を果たしているのだろうか。

業界No.1のフォロワー数

ミカド五反野店(東京都足立区)

「ミカド五反野店」は、五反野から徒歩1分の駅前店。総設置台数は350台、パチンコ195台、パチスロ155台、5つの遊技料金から選んで遊べる地域密着型だ。ここで働くのは、業界スタッフ内でも屈指のフォロワー数を持つ「あんどさん」だ。彼女がこれまで

の取り組みを聞いてみた。Twitterを始めたきっかけは、会社全体の話し合いで、SNSを通じていろいろな方とコミュニケーションを取れるのが嬉しかったこと。個人アカウントを開いたのは2019年12月。今は1万6000人を超える

フォロワーを持つ大人気のスタッフだ。「もともとお客様とお話しするのが好きだったので、SNSを通じていろいろな方とコミュニケーションを取れるのが嬉しかったです。Twitterの更新も動画撮影グッズや制作などで以前よりも、より業務に携わること

が少なくないです。若い男性はもちろん男女問わずLINEや着て来店して下さったりしています。このホールにもお話しする状況だ。昨年コロナ禍でこのホールは閉鎖された。状況は、昨年コロナ禍でこのホールは閉鎖された。状況は、昨年コロナ禍でこのホールは閉鎖された。



幅広い層のファンを獲得するあんどさん



Twitterのフォロワー数は1万6000人以上

アイドル店員の火付け役

アーリーナ川口店(埼玉県川口市)

川口駅東口から徒歩1分の「アーリーナ川口店」は、総設置台数377台(パチンコ198台、パチスロ179台)の駅前店。パチンコは1円と0.2円、パチスロは46枚出しと地域初の90枚出しの店舗だ。ここで勤務するあゆちゃん(あゆま)さんは、2019年12月のグランオープン時から在籍

1万5000人を超えるフォロワーを持つあゆちゃん(あゆま)さんと、プロデュサーのやじおさんと、SNSの活用について話を聞いた。

「AKB48のような会に行けるアイドルがいるなら、会いに行けるスタッフ」がいてもいいのではないかと、店舗アカウントを引継ぎ、あゆちゃん(あゆま)さんに

「コロナ禍以前はフォロワーが増えるにつれて、遠方から来てくださる方も多くなって驚きました。Twitterを始めて3年以上が経ち、毎日約8万人に上る。SNSは人との繋がりが増えるほど、いいねや返信などの対応をするのが難しくなってきた。この関係が広く浅くなる。店舗を運営する三磨商事は、共



アイドル店員は、様々な情報を発信している



ホール業務、Twitterの更新に加え、動画の撮影・編集などもこなす

累計フォロワー数3万人超

マグマ 自由が丘店(東京都目黒区)



メンバーと共にマグマを盛り上げる

自由が丘駅から徒歩10分にある「マグマ自由が丘店」は、設置台数150台、パチスロ専門店。グループ店と合わせて7つのアカウントを持ち、累計フォロワー数は3万人を超える。今回は社員として働く主任の「きゅあさん(あいら)」さんにSNSの活動内容などについて話を聞いた。

Twitterを始めたのは2017年頃。当初はきゅあさん(あいら)がアカウントを作成してスタートした。

「もともとスロ専として地元では有名だったみたいですが、私は知りませんでした。笑。もっといろんな人にマグマを知ってもらいたいという気持ちで始めました」

きゅあさん(あいら)はTwitterを始めた経緯をこう話した。

「休日も平日も関係なく、お客様が溢れかえるようなお店にしたいです。私たちができるのは、自分のファンを増やして、マグマという店舗を好きになってもらうことです。マグマとお客様を繋ぐ架け橋になれるように、これからも活動していきたいです」

「嫌なことがあっても、応援してくれるファン、悩みを聞いてくれる店長やメンバーがいるから頑張れる」と彼女が話した。今後の目標を聞いた。

「これからも関係なく、お客様が溢れかえるようなお店にしたいです。私たちができるのは、自分のファンを増やして、マグマという店舗を好きになってもらうことです。マグマとお客様を繋ぐ架け橋になれるように、これからも活動していきたいです」



あいらさん(左)とあいらさんがマネージングするきゅあさん(右)

会社に悪影響を及ぼす店長

マーケティング講座 増資する店長の視点 シーズン3

株式会社 第二営業部 堀川和映 顧問

社長の評価軸は、4つの観点から評価されます。

- A. 上から下へも評価が高い
- B. 上からの評価は高いが、下からの評価は低い
- C. 上からの評価は低い、下からの評価が高い
- D. 上から下へも評価が低い

この中で最も悪影響を及ぼすのはDです。Dの問題は、誰が適任でない人材だとわかっているのに、その人材を留めようとする、降格や解雇が難しい、という点にあります。

「上から下へも評価が低い」は、彼彼女の能力によるものではなく、会社の上層部が、その人材を留めようとする、降格や解雇が難しい、という点にあります。

「上からの評価は高いが、下からの評価は低い」は、部下からの信頼が薄い、部下からの評価が低い、という点にあります。

「上からの評価は低い、下からの評価が高い」は、部下からの信頼が薄い、部下からの評価が低い、という点にあります。

「上から下へも評価が低い」は、部下からの信頼が薄い、部下からの評価が低い、という点にあります。

イータックは効果が1週間持続

(抗菌・抗ウイルス)

Etakの最大の特長は「効果の持続性」です。接着剤成分(シラン化合物)が含まれている(特許取得済み)ことで素材の表面に固定化され、消毒薬の効果が持続します。

- 全てのウイルス・菌に対して効果があるわけではありません。
- 使用状況によっては持続力が異なります。
- イータックをガラス板に塗布し、菌・ウイルスに対する1週間後の効果を検証(ジェクス株式会社)

イータック 2L ¥15,000 (税別/送料・代引手数料無料)

イータック 4L ¥19,000 (税別/送料・代引手数料無料)

イータックは新型コロナウイルスを防止消毒するアルコール製剤です。

【使用例】パチンコのハンドル・上皿・下皿・ガラス面、パチスロのバー・ストップボタン、トイレの便座、トイレマント、ドアノブ、ホールチェア、レストコーナーのソファ・足元、制服、手拭きなど

【第三者機関で効果検証】防ウイルス効果、消毒効果が認められたもの：コロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルス、O157、サルモネラ、黄色ブドウ球菌、MRSAカンジダ菌、水虫原因菌など

【特許取得済】特許：第3834655号、特許：第4830075号、特許：第4848484号、特許：第4972743号

株式会社 アミューズメント プレス ジャパン

お申込み：電話またはメールで下記へ。注文用紙をお送りします。資料請求・お問合せも下記へ

TEL.03-5447-0555 hanbai@amusement-japan.co.jp

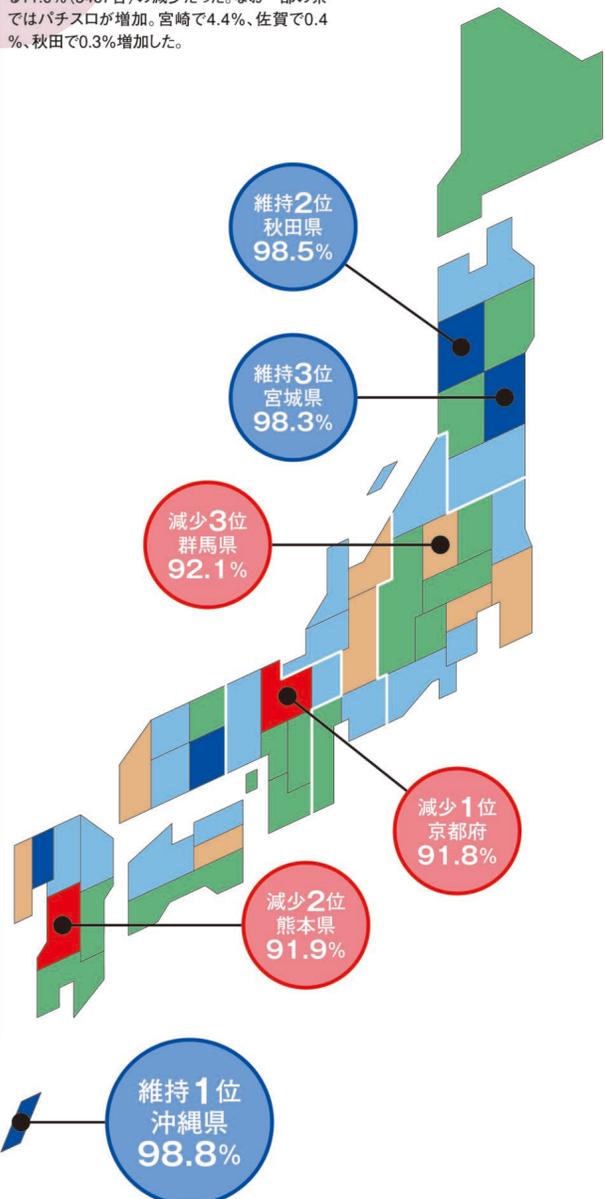
最新 全国店舗数・遊技機設置台数

警察庁が発表した2020年末時点の店舗数・設置台数をもとに、都道府県別の店舗数および設置台数の変化、成人人口1000人あたりの設置台数を本紙が算出した。なお総設置台数にはアレンジボール、ジャン球、スマートボールを含めていない。

順位	都道府県	総設置台数 2019年比(%)
1	沖縄県	98.8
2	秋田県	98.5
3	宮城県	98.3
4	佐賀県	98.2
4	岡山県	98.2
6	新潟県	97.9
7	茨城県	97.6
7	愛媛県	97.6
9	香川県	97.4
10	神奈川県	97.1
11	広島県	97.0
12	島根県	96.9
12	兵庫県	96.9
12	石川県	96.9
15	静岡県	96.8
16	大分県	96.6
17	滋賀県	96.2
17	福島県	96.2
17	福井県	96.2
20	青森県	96.1
20	愛知県	96.1
22	埼玉県	95.8
22	大阪府	95.8
24	高知県	95.7
25	福岡県	95.6
26	宮崎県	95.4
27	栃木県	95.0
28	長野県	94.9
28	長崎県	94.9
28	奈良県	94.9
28	和歌山県	94.9
32	山梨県	94.6
33	岩手県	94.5
34	鳥取県	94.2
34	三重県	94.2
34	鹿児島県	94.2
34	山形県	94.2
38	北海道	94.0
39	山口県	93.7
40	東京都	93.5
41	千葉県	93.5
42	徳島県	93.4
43	岐阜県	93.0
44	富山県	92.6
45	群馬県	92.1
46	熊本県	91.9
47	京都府	91.8

設置台数の変化 (2019年末→2020年末)

全都道府県で設置台数が減少した。都道府県別では京都(5783台減)、熊本(6266台減)の落ち込みが目立つが、釧路方面では両県を超える11.0%(3467台)の減少だった。なお一部の県ではパチスロが増加。宮崎で4.4%、佐賀で0.4%、秋田で0.3%増加した。



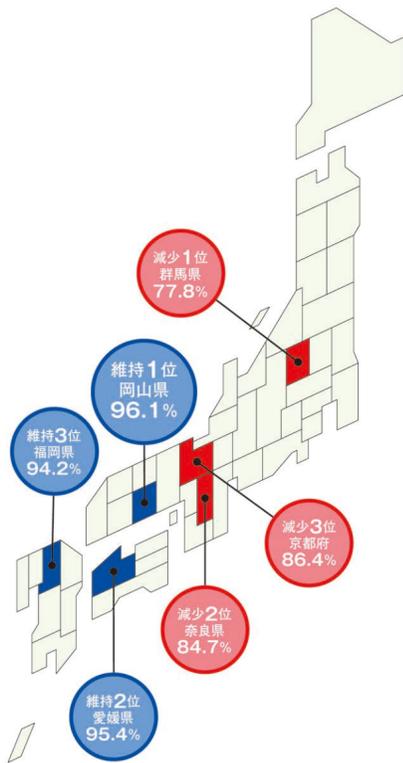
都道府県	ホール軒数	パチンコ 設置台数	パチスロ 設置台数	総設置台数
北海道	235	64,833	43,354	108,187
函館方面	47	12,421	7,751	20,172
旭川方面	72	15,604	9,960	25,564
釧路方面	69	17,214	10,956	28,170
北見方面	40	9,035	5,438	14,473
青森県	118	34,173	19,887	54,060
岩手県	116	30,762	15,225	45,987
宮城県	179	55,638	30,734	86,372
秋田県	104	26,199	13,396	39,595
山形県	92	21,706	13,256	34,962
福島県	173	46,747	27,178	73,925
東京都	730	161,084	120,111	281,195
茨城県	236	61,533	45,067	106,600
栃木県	160	45,831	30,261	76,092
群馬県	141	39,785	25,678	65,463
埼玉県	444	117,369	79,023	196,392
千葉県	379	98,324	64,104	162,428
神奈川県	497	125,181	84,007	209,188
新潟県	158	42,693	25,591	68,284
山梨県	58	16,347	8,549	24,896
長野県	156	42,830	25,230	68,060
静岡県	266	74,318	46,953	121,271
富山県	63	22,911	13,549	36,460
石川県	85	26,121	14,916	41,037
福井県	68	21,860	10,666	32,526
岐阜県	147	45,974	26,155	72,129
愛知県	492	161,783	103,828	265,611
三重県	112	38,854	22,600	61,454
滋賀県	106	28,721	19,336	48,057
京都府	155	39,984	25,051	65,035
大阪府	666	190,418	106,954	297,372
兵庫県	379	88,738	63,665	152,403
奈良県	73	18,873	10,271	29,144
和歌山県	75	22,246	11,945	34,191
鳥取県	60	12,618	10,506	23,124
島根県	66	14,032	10,394	24,426
岡山県	132	31,056	28,105	59,161
広島県	239	48,596	41,378	89,974
山口県	121	30,710	23,299	54,009
徳島県	58	16,899	10,470	27,369
香川県	74	20,458	13,377	33,835
愛媛県	114	30,236	20,181	50,417
高知県	77	19,860	9,561	29,421
福岡県	352	109,353	77,013	186,366
佐賀県	62	19,764	12,730	32,494
長崎県	137	34,241	21,721	55,962
熊本県	142	44,901	26,354	71,255
大分県	116	33,307	21,909	55,216
宮崎県	114	36,993	21,827	58,820
鹿児島県	206	52,062	25,056	77,118
沖縄県	74	11,367	17,522	28,889
合計	9,035	2,432,563	1,572,048	4,004,611

全国ホール軒数 遊技機設置台数

全国のホール軒数は9035軒で、前年より604軒(6.3%)減少した。総設置台数は400万4611台で、同19万1140台(4.6%)の減少。パチンコが約12.5万台(4.9%)、パチスロが約6.6万台(4.0%)減少した。

設置台数の変化 (2017年末→2020年末)

総設置台数は直近3年間で、約43.2万台減少した。パチンコが約31.7万台の減、パチスロが約11.5万台の減。この3年間でパチンコが増えた都道府県はないが、パチスロは宮崎(2.7%増)と熊本(1.5%増)で増えた。減少率が大きい群馬では約1.9万台減少した。

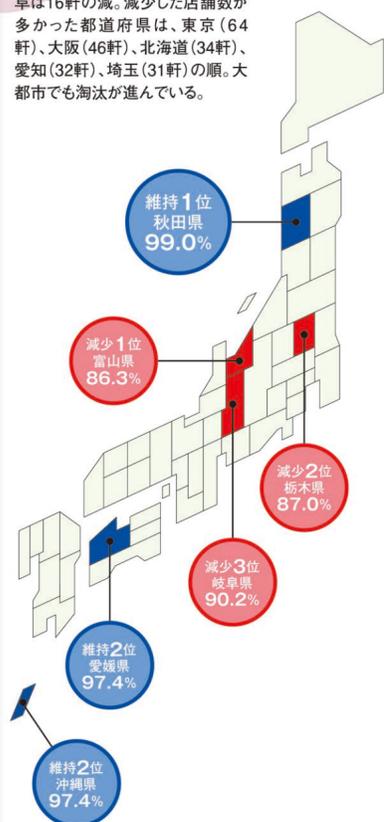


順位	都道府県	総設置台数 2017年比(%)
1	岡山県	96.1
2	愛媛県	95.4
3	福岡県	94.2
4	広島県	93.7
5	島根県	93.6
5	宮城県	93.6
7	香川県	93.2
8	滋賀県	93.1
9	神奈川県	92.9
10	秋田県	92.8
10	佐賀県	92.8
12	栃木県	92.4
13	兵庫県	92.1
14	茨城県	92.0
15	宮崎県	91.9
15	山形県	91.9
17	福井県	91.7
18	大分県	91.6
19	沖縄県	91.5
19	鳥取県	91.5
21	富山県	91.4
21	岐阜県	91.4
21	愛知県	91.4
24	長野県	91.1
25	高知県	91.0
26	青森県	90.9
27	岩手県	90.7
28	石川県	90.6
29	福島県	90.4
30	熊本県	90.2
30	新潟県	90.2
32	和歌山県	89.6
33	徳島県	89.4
34	長崎県	89.3
35	大阪府	89.1
35	三重県	89.1
37	千葉県	89.0
38	静岡県	88.9
39	埼玉県	88.8
40	鹿児島県	88.3
41	北海道	87.9
42	山梨県	87.8
43	東京都	87.1
44	山口県	86.6
45	京都府	86.4
46	奈良県	84.7
47	群馬県	77.8

順位	都道府県	2019年比(%)
1	秋田県	99.0
2	愛媛県	97.4
3	沖縄県	97.4
4	佐賀県	96.9
5	兵庫県	96.7
6	宮城県	96.2
7	香川県	96.1
8	神奈川県	95.9
9	新潟県	95.8
10	茨城県	95.5
10	石川県	95.5
12	静岡県	95.0
13	和歌山県	94.9
13	鹿児島県	94.9
15	広島県	94.8
15	奈良県	94.8
17	滋賀県	94.6
17	福岡県	94.6
19	山口県	94.5
20	福井県	94.4
21	大分県	94.3
21	岡山県	94.3
23	愛知県	93.9
24	千葉県	93.8
25	大阪府	93.5
25	福島県	93.5
25	埼玉県	93.5
28	長野県	93.4
28	京都府	93.4
30	長崎県	93.2
30	北海道	93.2
32	青森県	92.9
33	岩手県	92.8
34	山梨県	92.1
35	山形県	92.0
36	東京都	91.9
37	島根県	91.7
37	高知県	91.7
39	熊本県	91.6
39	群馬県	91.6
41	鳥取県	90.9
42	徳島県	90.6
43	宮崎県	90.5
44	三重県	90.3
45	岐阜県	90.2
46	栃木県	87.0
47	富山県	86.3

店舗数の変化 (2019年末→2020年末)

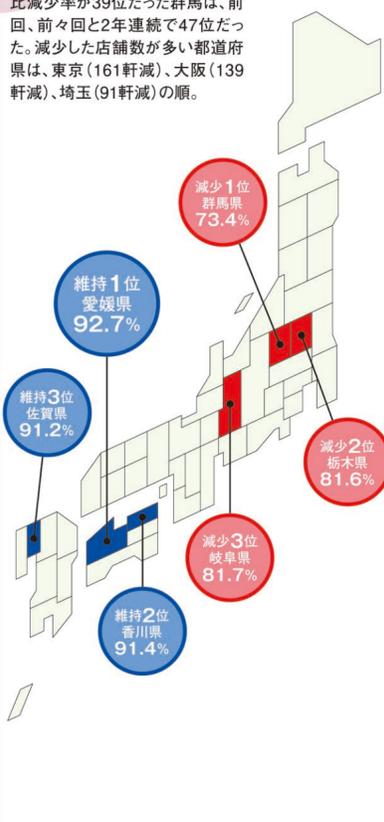
前年比で店舗数が増えた都道府県はない。減少率が最も大きい富山は10軒の減少。栃木は24軒、岐阜は16軒の減。減少した店舗数が多かった都道府県は、東京(64軒)、大阪(46軒)、北海道(34軒)、愛知(32軒)、埼玉(31軒)の順。大都市でも淘汰が進んでいる。



順位	都道府県	2017年比(%)
1	愛媛県	92.7
2	香川県	91.4
3	佐賀県	91.2
4	福岡県	90.7
4	福井県	90.7
6	秋田県	90.4
7	沖縄県	90.2
8	広島県	89.8
9	島根県	89.2
9	岡山県	89.2
11	熊本県	88.8
12	宮城県	88.6
13	神奈川県	88.1
14	大分県	87.9
15	兵庫県	87.7
16	山形県	87.6
17	鳥取県	87.0
18	千葉県	86.9
19	石川県	86.7
20	徳島県	86.6
21	和歌山県	86.2
21	滋賀県	86.2
23	京都府	86.1
24	茨城県	85.8
25	宮崎県	85.7
26	鹿児島県	85.5
27	北海道	85.4
28	岩手県	85.3
29	愛知県	84.4
30	山梨県	84.1
31	長崎県	84.0
31	新潟県	84.0
31	富山県	84.0
34	静岡県	83.9
35	高知県	83.7
35	青森県	83.7
37	福島県	83.6
38	長野県	83.4
39	三重県	83.0
40	山口県	82.9
41	大阪府	82.7
42	埼玉県	82.5
43	奈良県	82.0
44	東京都	81.9
45	岐阜県	81.7
46	栃木県	81.6
47	群馬県	73.4

店舗数の変化 (2017年末→2020年末)

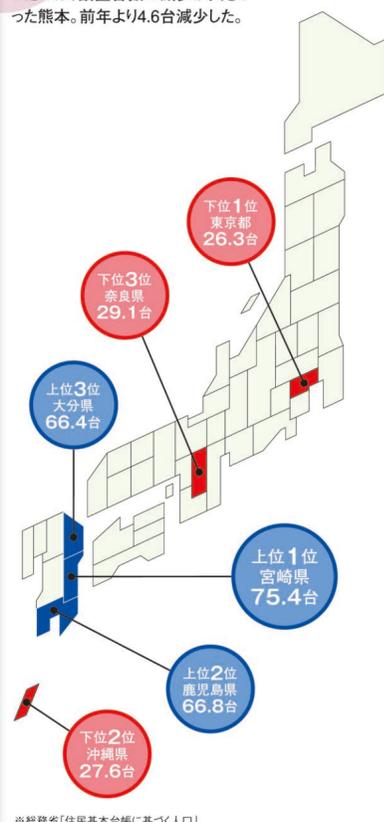
店舗数は直近3年間で、1561軒減少した。減少率が最も大きい群馬は51軒の減。今年の発表で前年比減少率が39位だった群馬は、前回、前々回と2年連続で47位だった。減少した店舗数が多い都道府県は、東京(161軒減)、大阪(139軒減)、埼玉(91軒減)の順。



順位	都道府県	1000人あたりの 設置台数(台)
1	宮崎県	75.4
2	鹿児島県	66.8
3	大分県	66.4
4	長崎県	57.7
5	福井県	57.5
6	鳥取県	57.4
7	高知県	57.3
8	青森県	57.1
9	熊本県	56.5
10	佐賀県	55.2
11	秋田県	55.1
12	山口県	54.4
13	福島県	53.6
14	栃木県	51.7
15	岩手県	51.2
16	島根県	51.0
17	宮城県	50.6
17	愛媛県	50.6
19	徳島県	50.4
20	北海道	49.8
21	福岡県	49.4
22	和歌山県	49.0
23	石川県	48.9
24	茨城県	48.7
25	岐阜県	48.4
26	香川県	47.4
27	愛知県	47.0
28	富山県	46.9
29	滋賀県	46.2
30	三重県	46.0
31	長野県	45.2
32	山形県	44.9
33	群馬県	44.8
34	大阪府	44.6
35	静岡県	44.2
36	広島県	43.4
37	岡山県	42.8
38	新潟県	41.8
39	山梨県	41.0
40	兵庫県	37.1
41	埼玉県	34.9
42	京都府	34.4
43	千葉県	33.9
44	神奈川県	29.9
45	奈良県	29.1
46	沖縄県	27.6
47	東京都	26.3

1000人あたりの設置台数

都道府県別に成人人口1000人あたりの設置台数を調べた。上位3県は前年と同様。例年どおり九州圏の多発数が目立つ。前年と大きな差があったのは、設置台数の減少が大きかった熊本。前年より4.6台減少した。



※総務省「住民基本台帳に基づく人口」2020年1月1日時点の20歳から79歳までを抽出